

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



「へいがしら」を知っていますか？



- 「へいがしら」は漢字で蠅頭と書く結束法で、結び目がハエの頭のように見えるためこの名前と呼ばれています
- 樹の枝をロープで引っ張る際には、樹が太るのを見越して少し隙間を残しながら固定して留める必要があります。
- 通常の縛り方では、そのうちに結び目がずれていき、ロープが枝に食い込んでしまいます。そのような場合に「へいがしら」を用いると、結び目が逃げないように保ちながら安定して枝を引っ張り続けられます(図)。
- 整枝剪定や樹勢調整に必要な基本技術の一つです。男結び、イボ結びとも呼ばれます。詳細は以下を参考にしてください。
<https://www.youtube.com/watch?v=Q9ULryycpF0>
<https://www.youtube.com/watch?v=mEao9ASz-Uw>



図 「へいがしら」の利用例



冬の寒さの必要性



- 果樹の開花は、単純に気温が高ければ進むわけではありません。冬季中に一定量の低温に遭わないと自発休眠が開けないので開花準備が整いません。
- この低温要求量は7.2℃以下の気温に遭遇した積算時間で示され、樹種や品種で異なります(図)。
- 山梨県では、ブドウ:400時間、モモ:1,000時間、オウトウ1,200時間を低温要求量の目安にしています。
- これらの量が満たされる時期は、各12月下旬、1月下旬、2月上旬です。
- その後、モモのハウス栽培ならば加温開始してから1ヶ月程経過する3月上旬には開花期を迎えるでしょう。

イチジク
ブドウ
カキ
アーモンド
マルメロ
ブラックベリー
アンス
モモ
ブルーベリー
甘栗オウトウ
酸栗オウトウ
ペカン
ニホンスモモ
クルミ
スグリとグズベリー
ナシ
フィルバート
ラズベリー
リンゴ
セイヨウスモモ
アメリカスモモ
ノーザンボボウ

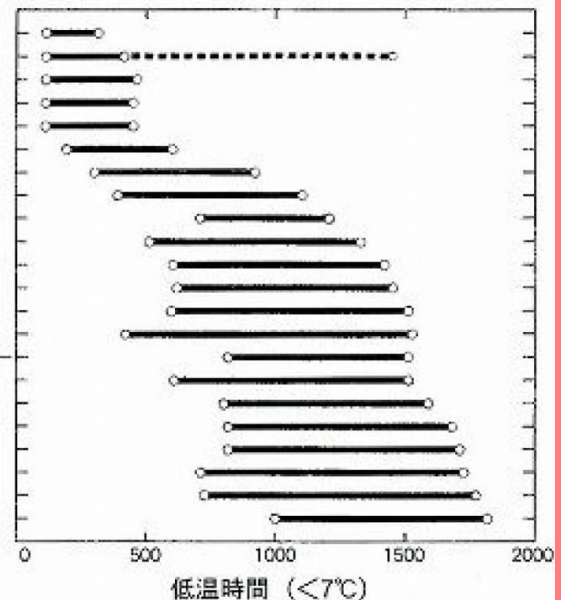


図 果樹の低温要求量
(水谷、2002 Westwood(1993)より作成)